（別紙）

地域サポート計画（新規就農者向け）

（令和3年5月現在の情報）

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市	問合せ窓口	（組織名）産業環境部　農務課 （住所）豊川市諏訪1丁目1番地	（電話）0533-89-2138 （メールアドレス）nomu@city.toyokawa.lg.jp

第1　新規就農者に関する目標及び実績（必須）

（単位：人）

		目標		直近過去実績						備考（年度の考え方等、補足説明が必要な事項がある場合は記載）
		令和3年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		
			うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下	
新規就農者数（必須）		16	13	10	8	10	8	22	15	
内訳	新規参入者数	7	5	3	2	3	3	14	7	
内訳	新規自営農業就農者数	8	7	4	3	6	4	8	8	
内訳	新規雇用就農者数	1	1	3	3	1	1	0	0	

注1：「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達（相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。）し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2：「新規自営農業就農者」とは、家族経営体（1世帯（雇用者の有無を問わない）で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一法人を含む。）の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3：「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い（年間7か月以上）として雇用されることにより、農業に従事することとなった者（外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。）をいう。

第2　新規就農者への地域サポート内容

1　地域の紹介等（必須）

就農希望者に向けたサポート宣言	「いいねがあふれる農業へ」をスローガンに、豊川市の農産物と農業者をサポートしていきます。
地域と農業の紹介文	豊川市の農業は、豊川用水の通水後急速に進展し、現在では愛知県下3位の農産物生産額を誇っています。本市では、名産の大葉、スプレーマムを始め、バラ、トマト、イチゴなどを主体とする施設園芸が地域農業の中心的な役割を果たしているほか、稲作、露地野菜、畜産など多種多様な農業がバランスよく発展しています。
主な農産物	大葉　バラ　トマト　スプレーマム　イチゴ
地域が求める新規就農者	豊川市の農業は、現在では愛知県下3位の農産物生産額を誇っていている一方で、農業従事者の高齢化や後継者不足により農家数は減少傾向にあります。若い年齢の方が、地域の農家から研修を受け、ともに豊川市の農業を盛り上げていただけることを期待しています。

2　地域サポート体制（必須）

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	愛知県東三河農林水産事務所農業改良普及課 ひまわり農業協同組合営農部営農企画課	販路支援	ひまわり農業協同組合営農部営農企画課
農地確保支援	豊川市農業委員会	生活に係る支援 （住居、子育て等）	
機械・施設等の確保支援	ひまわり農業協同組合営農部営農企画課	事務局・全体調整	豊川市役所産業環境部農務課
資金相談	ひまわり農業協同組合営農部金融課	その他（〇〇）	
農業者による指導	先進農家	その他（〇〇）	

３ 新規就農者への支援内容（取り組んでいる支援を記載）

区分	支援項目		支援内容の紹介
就農意欲喚起		就農・移住相談対応、就農相談会の開催	
		就農体験ツアー・インターンシップの実施	
		ホームページ、パンフレット等での情報提供	
		その他	
就農前の支援	○	研修の実施（生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等）	「本格的に就農し出荷販売を行ないたい」方々に向けて「とよかわ就農塾」を開講しています。
		就農計画作成サポート	
		農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	
		販路確保、販路開拓に向けた支援	
		生活に関わる支援（住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等）	
		その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援		就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	
	○	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	とよかわ就農塾修了者、農業協同組合の就農インターン修了者、農業次世代人材投資資金受給者を対象に、希望者に対して農業機械導入事業補助金を交付します。
	○	販路確保、販路開拓に向けた支援	とよかわ農業市を開催し、新規就農者の販売機会の創出を図っています。
	○	地元農家や地域住民との交流促進の取組	就農後3年間の農業者が集まり情報交換を行う、ニューファーマーのつどいを開催しています。
		生活に関わる支援（住居のあっせん・手当、子育て支援等）	
		その他	

注：地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

4　就農までの流れ（必須）

就農相談	就農準備段階	就農
農業経験の有無、過去の研修等の有無、家族構成、希望する作目、今後研修を受ける意思の有無、必要な農地面積、等を確認	希望者を対象に、認定新規就農者の認定に向けた手続きの支援、次世代人材投資資金補助金の手続きの支援	

5　経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

（1）経営開始5年目の目標（主たる従事者1人当たり）（必須）

年間所得	467 万円	年間労働時間	2000 時間

（2）経営開始5年目の目標となる農業経営モデル（必須）

営農類型	品目	経営規模（a、頭数等）	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	ミニトマト	20 a	1.2 t/10a	売上 1584 万円	専従 人	h/年	
				経費 1117 万円	パート 2 人		
				所得 467 万円			

主な施設・機械等							
	ビニールハウス	2 棟	動力噴霧器	1 台		台	
		式	軽トラック	1 台		台	
	炭酸ガス発生装置	2 台		台		台	

注：必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

（3）その他情報（任意、自由記載）

注：必要に応じて適宜行を追加して記入してください。